

議員研修報告書

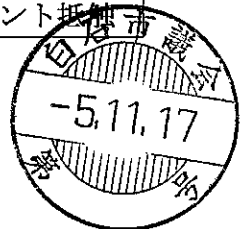
令和5年11月17日

白石市議会議長 松野久郎 殿

議員氏名 佐久間 儀 郎

下記のとおり行いましたので報告いたします。

期 間	令和5年11月1日(水) ～ 11月2日(木)
調査・研修先	市町村職員中央研修所(市町村アカデミー)
調査/研修事項	令和5年度 市町村議会議員特別セミナー②
対応者・講師等	①演題「地方議会におけるハラスメント対策をどう進めるか」 講師 上智大学法学部教授 三浦 まり 氏 11月1日 13:30～15:00 ②演題「超高齢・人口減少社会における自治経営」 講師 一橋大学法学研究科教授 辻 琢 也 氏 11月1日 15:15～16:45 ③演題「ローカル鉄道を上手に使うって地域活性化」 講師 えちごトキめき鉄道株式会社代表取締役社長 鳥塚 亮 氏 11月2日 9:00～10:30 ④演題「歴史から学ぶリーダーシップ」 講師 歴史作家、多摩大学客員教授 河合 敦 氏 11月2日 10:45～12:15
概 要 ① 背景・目的 ② 内容・特色 ③ 主な質疑 ④ 考察 (感想、課題、 政策提言等	1、「地方議会におけるハラスメント対策をどう進めるか」 ○ハラスメントとは、【相手に言葉や行動などで嫌がらせを行なうこと。】 1980年代後半からセクシャルハラスメントという言葉が飛び交うようになり、近年はパワハラ、マタハラ、モラハラなどさまざまなハラスメントが社会問題になっている。 ハラスメントを行った側にそうした気持ちがなくとも、相手に苦痛を与える、傷つける、不利益を与える行為などはハラスメントになる。 ○ハラスメントをめぐる法体系 ・日本はハラスメント行為が禁止されていない ・2022年版世銀「女性・ビジネス・法」によると OECD32カ国中で唯一日本のみ ・民事・刑事法上の規定を持たないのは日本とチリ ・ハラスメントを犯罪化する国は14カ国 ・日本はILO190号条約の批准ができない ・ハラスメント防止は事業主の雇用管理上の措置義務 労働安全衛生法、労働基準法などに違反する行為がハラスメント



の事例となる。就業環境（政治参画を含む）に働き続けられない、心身の不調で能力を発揮できないことから、生産性が落ちる等マイナスの影響が生じる。

- ・男女雇用機会均等法 11 条、育児介護休業法 25 条、労働施策総合推進法 30 条の 2
- ・人事院規則 10—10 運用
- ・厚労省ガイドライン

○女性の政治参画への障害等に関する調査結果（令和 2 年度）

- ・地方議員を対象に、政治参画を阻む要因を調査した結果、議員活動や選挙活動中に、有権者や支援者、議員等からハラスメントを受けたかという質問に対して、全体の 42.3%、男性の 32.5%、女性の 57.6% がハラスメント行為を受けたと回答している。
- ・ハラスメント言動の典型例
 - ・女性は政治家に向いていない、票が取れない、能力が低いというメッセージ
 - ・「女性のくせにできる」と褒めているつもり（女性全体を貶める）
 - ・「美人はいいなあ」と褒めているつもり（政治家としての能力を否定）
 - ・「子どもは誰が面倒見てるんだ？」「妊娠は職務放棄だ」（女性は家庭のことに専念すべき—政治家になるべきでない）
 - ・性的対象として扱う、性的噂を流す（政治家としての人格を否定）
 - ・ストーカー型（説教、執拗な付きまとい）の票ハラスメント
 - ・政治的目的のデマ、誹謗中傷
 - ・長時間にわたって拘束し説教
 - ・オンライン・ハラスメント（見ている人にも影響）
- ・ハラスメントの影響は深刻！！
 - ・萎縮、自信を失う、不信感
 - ・精神不調（希死念慮を含む）、体調不調
 - ・立候補取りやめ・・・ 内閣府調査：：立候補を取りやめた理由で「性別による差別やセクシュアルハラスメントを受けた」ものは、男性 7.8%、女性 23.5%。
- ・議会ハラスメントは問題である！
 - ・被害者の人権侵害
 - ・議会という職場環境の悪化
 - ・女性の政治家としての人格を貶める ←ジェンダー平等と相入れない
 - ・政治参画する意欲を削ぐ ←民主主義と相入れない
 - ・議会は社会のハラスメント防止を促進する立場 ←議会の役割と相入れない
- ・ハラスメントに気づく難しさがある！
 - ・ハラスメントは優越する地位の濫用
 - ・議員経験（当選回数）、要職（議長など）、年齢、多数派会派

- ・社会における優位性（男性・異性愛・シスジェンダー・健常者、出自など）
- ・意図的かは関係ない、尊厳を傷つける「効果」を持ったらハラスメントになり得る！
- ・無意識の偏見（ある属性を劣っているとみなす、議員にふさわしくないと思う）

○ハラスメント条例の広がり

- ・議員・職員のハラスメントに関する単独条例は 34 本（2023 年 9 月 25 日時点の地方自治研究機構調べ）
- ・狛江市は全国初の単独条例。条例は、「前市長のセクハラ問題の際、同市の『狛江市職員のハラスメントの防止に関する規則』は市長などの特別職や市議会議員が対象となっていないなどの問題点が明らかになったのを受け」市議会議員による策定作業が進められ、「条例には対象を特別職に拡大するとともに、第三者委員会の設置や調査結果の公表などを盛り込んだ」。

○規定内容の例示

- ・首長等の責務（首長・副首長、教育長など行政委員会の委員長、委員を含めている自治体もある）
- ・議長および議員の責務
- ・職員に対する指針
- ・研修
- ・相談窓口の設置および相談員の選任
- ・事実関係の把握および公表
- ・苦情処理委員会、ハラスメント対策委員会等の設置
- ・相談・苦情の処理および対応措置
- ・秘密の保持（プライバシー保護）
- ・不利益取り扱いの禁止
- ・継続的な検討、見直し規定

○最近の実例；『福岡県ハラスメント根絶条例』

- ・議員によるハラスメント+議員・候補者へのハラスメントが対象
- ・第3条「県議会議員及び県議会議員になろうとする者は、公職に参画し、又は参画しようとする者として高い倫理観が求められること及びハラスメントが個人の尊厳を不当に傷つけ、人格権その他の基本的人権を侵害する行為であることを自覚し、政治活動等における自らの言動を厳しく律しなければならない」

○ハラスメントが起きたら対処すべきこと

- ・被害者への二次加害を防ぐ
 - ・被害者に責任はない、行為者の責任を問う
 - ・勝手に評価しない
- ・調査の前の相談機能の強化
- ・非公式な調整による解決
- ・接触回数の減少、本人への謝罪、ハラスメント研修の受講など

- ・懲罰
- ・外部委員会による調査
- ・議会からの注意、勧告、公表
- ・問責決議、議員辞職勧告
- ・議会での謝罪、議員報酬一部返還、辞職

【感想】

講師は、慶応義塾大学法学部政治学科、カリフォルニア大学パークレー政治学博士課程修了。専門はジェンダーと政治、福祉国家論、ケアと民主主義。2021年フランス政府より国家功労勲章シュバリエを受賞。

著作に「さらば、男性政治」「政治って、面白い！女性政治家24人語る仕事のリアル」ほかの紹介があった。

ハラスメントについて専門の「ジェンダーと政治」を活かした講演であった。地方議会において男女共同参画の民主政治、男女均等の候補者が出馬できる環境整備、とくに女性政治家を増やしていくためにはハラスメント対策は急務であって、議会の責務との論調であった。

手法としては、「職員や議員のハラスメントの防止等に関する条例」を策定することを勧奨しており、講師的には狛江市の条例に注目すべきことを述べていた。

これまでの他自治体実例資料をみると、ハラスメントの発信者と被害者（受け手）の対象は各条例によって相当異なっているため、今後新たに策定しようとする自治体は、条例の対象をどう考えるかが1つの課題と考える。

当市議会は、7月の任期満了改選によって新人4人（男性2人、女性2人）が当選し議会刷新がはかられた。この好ましい潮流を止めないよう、ハラスメントの起きない議会環境をつくり、誰もが安心して議会活動に参加できるようにすることが、本市の民主主義を強化する（心理的安全性）肝である。

因みに、今回の研修資料で近隣の蔵王町議会が既にハラスメント防止条例を策定していたことを知る。内容は、議員による議員の地位を利用した町職員に対するハラスメントおよび議会内における議員間のハラスメントを防止することを目的としている。

2. 「超高齢・人口減少社会における自治経営」

○デジタル田園都市国家インフラ整備計画の全体像

- ・計画策定の考え方：：：「デジタル田園都市国家構想の実現のため」
 1. 光ファイバー、5G、データセンター / 海底ケーブル等のインフラ整備を地方ニーズに即してスピード感を持って推進
 2. 「地域協議会」を開催し、自治体、通信事業者、社会実装関係者等の中で地域におけるデジタル実装とインフラ整備のマッチングを推進
 3. 2030年代のインフラとなる「Beyond 5G」の研究開発を加速。研究成果は2020年代後半から順次、社会実装し、早期のBeyond 5Gの運用開始を実現

(1) 光ファイバー整備

- ・整備方針
 - ①2027年度末までに世帯カバー率 99.9%を目指し、更なる前倒しを追求
 - ②未整備世帯約 5 万世帯については、光ファイバーを必要とする全地域の整備を目指す。
- ・具体的な施策
 - ① ユニバーサルサービス交付金により、不採算地域における維持管理を支援
 - ② 離島等条件不利地域における地方のニーズに即した様々な対応策を検討
- (2) 5G整備
- ・整備方針
- <第1フェーズ基盤展開>
 - ①全ての居住地で 4G を利用可能な状態を実現
 - ②ニーズのあるほぼ全てのエリアに 5G 展開の基盤となる親局の全国展開を実現
 - ③5G 人口カバー率
 - 2023 年度末 ; ; 全国 95% 全市区町村に 5G 基地局を整備
- <第2フェーズ地方展開>
 - 2025 年度末 ; ; 全国 97% 各都道府県 90%程度以上
 - 2030 年度末 ; ; 全国・各都道府県 99%
- ・具体的な施策
 - ①新たな 5G 用周波数の割り当て
 - ②基地局開設の責務を創設する電波法の改正
 - ③補助金、税制措置による支援
 - ④インフラシェアリング推進
- (3) データーセンター / 海底ケーブル等整備
- ・整備方針
 - ア、データセンター : : 10 数か所の地方拠点を 5 年程度で整備
 - イ、海底ケーブル
 - ①日本周回ケーブル (デジタル田園都市スーパーハイウェイ) を 3 年程度で完成
 - ②陸揚げ局地方分散
- ・具体的な施策
 - 総務省、経産省の補助金で地方分散を促進
- (4) Beyond 5G (6G)
- ・研究開発・社会実装
 - ①「通信インフラの超高速化と省電力化、陸海空含め 100%カバー」等を実現する技術の研究開発を加速し、2025 年以降順次、社会実装と国際標準化を協力で推進する。
 - ②必須特許の 10%以上を確保し、世界市場の 30%程度の確保を目指す。
- (5) Beyond 5G ユースケース : : 2030 年代のあらゆる産業・社会活動の基盤として

- ・超高速大容量サービス
- ・超低遅延性が求められるサービス
- ・多数の IoT センサが同時接続されるサービス
- ・時間・場所の制約からの解放
- ・利用者が求めるサービス品質を安定的かつセキュアに提供

○デジタル化自治体：：最先端は福岡市

- ・市民と自治体の「CLOSING THE DISTANCE」実現する、福岡市 LINE 公式アカウント：：：平時も有事の際も、市民と行政のコミュニケーションをサポート：：：友だち数が 182 万人
- ・市民共通のごみの困りごとを LINE で解決：：粗大ごみのオンライン申請、支払い
- ・とつぜんはじまる避難訓練：：「避難行動支援機能」を応用したプロモーション実施
- ・最新の防災情報を地区ごとに LINE で通知
- ・まちの不具合を市民が LINE で通報

○ eLTAX (エルタックス)

インターネットを利用した地方税に係る手続きを電子的に行うシステムで、複数団体に対する電子申告・電子納税を一括で行うことができるほか、地方団体と国税当局間の情報連携に活用。地方税共同機構が管理・運営。

○地方税に係る収納手段の多様化

- ・従来から行われてきた口座振替に加えて、コンビニ納税(平成 15 年(2003 年)度) クレジットカード納付(平成 18 年(2006 年)度) など累次の制度改正により、各地方団体における収納手段は多様化。
- ・他方、システム改修費が高額であることなどを理由に、新たな収納手段の導入を行っていない地方団体も存在した。
- ・令和 5 年 4 月からの地方税統一 QR コード (eL-QR) 導入に伴い、概ねすべての地方団体において、電子納付環境が整備された。

○地方団体の基幹税務システムの標準化

- ・地方団体の基幹税務システムは、各団体が独自に構築・発展させてきた結果、発注・維持管理や制度改正対応などに個別に対応する人的・財政的負担が発生。また、住民・企業等のサービス利用者にとっては、地方団体ごとに異なる対応が必要。
- ・これらの課題を解決するため、標準仕様に基づくシステムを原則としてカスタマイズせずに利用するといった「システム標準化」を推進し、より効率的な行政を実現。
- ・地方公共団体情報システムの標準化に関する法律においては、標準化対象事務について、所管大臣が標準化基準を定め、地方団体は、標準化基準に適合する地方公共団体情報システムを利用しなければならないこととされている。

【感想】

講師紹介：専門は行政学、地方自治論。東京大学大学院博士号取得。国

地方係争処理委員会委員、税制調査会委員、地方創生推進交付金評定委員、ぽすと・コロナ期の地方公務員のあり方に関する研究会座長などを兼務。著作に「新しい自治体の設計」など。

レジュメには、①最近の行財政動向②定年引上げと働き方改革③デジタル化④デジタル化と自治体⑤持続的な地方圏の人口対策⑥食料自給とSDGs・ESGのメニューが用意されていたが、講師は時間的制約からすべてに触れず、「デジタル化、デジタル化と自治体、eLTAX（エルタックス）、地方税に係る収納手段」を中心に進められました。

講師が聴講者に何を政策提言したいのかは、正直残念ながら理解不十分でしたが、詳説した「デジタル田園都市国家インフラ整備計画の実践は不可避」ということから、自治体としての存続のためには、いかに自治体は環境整備、システム化に意を用いるべきということであると考えます。

3.「ローカル鉄道を上手に使って地域活性化」

講演の特色：：ローカル鉄道のうち公募で経営に参画した①いすみ鉄道、在職中の②えちごトキめき鉄道を取りあげ、講師が実践したユニークなアイデアを駆使したイベント等の企画や来客者の反響、地元住民の鉄道存続に向けた熱心な取り組みの様子を情熱的に紹介。

○「第三セクター鉄道」の基礎知識

第三セクター方式で設立された会社が運営する鉄道、またはこれを運営する鉄道事業者。狭義には、第三セクター鉄道等協議会に加盟する鉄道事業者を指す。

大分類では、1. 日本国有鉄道経営再建促進特別措置法（国鉄再建法）により日本国有鉄道やJRから経営が切り離された赤字ローカル線（特定地方交通線）や建設中に工事が凍結された路線（日本鉄道建設公団の旧国鉄建設線）を引き受けるために設立されたもの。

2. 整備新幹線の開業に伴い、JRから分離された並行在来線区間を引き受けるために設立されたもの。

総じて経営状況をみると、地方の赤字路線や整備新幹線の開業に伴う並行在来線区間を肩代わりした地区では経営の苦しい事業者も多く、一部は危機的な状況に置かれており、事業を廃止した会社もある。

経営状況が悪い第三セクター鉄道では、売店など周辺事業への進出、イベント列車の運行や地域密着イベントの開催、新駅の設置、グッズ販売などで合理化を進めてコストを徹底的に圧縮する努力を講じていることが多い。

☆いすみ鉄道

千葉県夷隅郡大多喜町に本社を置く鉄道事業者。日本国有鉄道特定地方交通線の一つだった「木原線」を引き継いで、いすみ線として運営している。長年にわたって赤字経営が続いており「いすみ鉄道再生会議」で収支の改善見込みが立たない場合は、鉄道廃止も検討することを決めた。

経営立て直しのため、社長を一般公募することを発表。123人の公募の中から鳥塚 亮氏に決定する。手腕を発揮して成果を上げた鳥塚氏は2018年6月株主総会をもって任期満了退任。

○鳥塚 亮氏の観光客を増やす増収策！

交通機関の役割として人・物の輸送をとおして地域が栄えることを狙い鉄道が看板、広告塔になって地域が有名になること、いすみ市が全国区になることを目指す！

- ・基金6億円を活かし、敢えて国鉄時代旧型の車両の購入をJRと交渉の未実現。ついで新装車両も用意したが外観は国鉄時代旧型急行(キハ28形キハ30形)。これに“撮り鉄”ファンが集まるようになる。
いまでは、キハ28形・30形連結車内のテーブル席では、イタリア料理などを提供する「レストラン列車」となっている。
- ・撮り鉄写真が各地に拡散：：試しに三輪トラックを駅構内に置くと列車との景色が昭和時代色を醸しだし、ついでボンネットバスを設置、すると愛好家が保有する昭和車が自然と集結するようになって、話題にひろがりを見せる。
- ・地元民からは、昭和世代を懐かしむフォークソング列車に発展する。
- ・“ムーミン電車”、季節にあわせて「菜の花」・「さくら」列車を企画したところ女性・若者客が集まる。
- ・出雲大社とコラボ：：島根県出雲大社との歴史的繋がりがあった地元の出雲神社を活かして、縁結びにご利益ありとPRしたところ、都会から大勢の若者カップル等が押し掛ける観光地に再生。古びた神社の修復に至る。
- ・訓練費700万円を自己負担することを条件に列車運転免許を取得できるという運転士採用プラン。：：男性4人が採用され、4人はディーゼル列車の運転資格である国土交通省の動力車操縦資格試験に合格し、2012年夏より単独乗務。これを題材とした『菜の花ラインに乗りかえて』というテレビドラマが制作され、いすみ鉄道の知名度が全国版となる。
- ・観光地みやげには煎餅「い鉄揚げ」 饅頭「房総のけむり饅頭」各種ストラップ、出雲神社のおみくじ等の販売。
- ・高校生が駅構内そうじ等、熱心に鉄道維持のために取り組むようになる。

☆えちごトキめき鉄道

2015年3月14日の北陸新幹線の長野駅—金沢駅間延伸開業に伴い並行在来線として経営分離される路線のうち、JR東日本信越本線の妙高高原駅—直江津駅間(→妙高はねうまライン)と、JR西日本北陸本線の市振駅—直江津駅間(→日本海ひすいライン)の2区間を運営する鉄道事業者として、2010年11月22日に新潟県、妙高市、上越市、糸魚川市などが出資し、「新潟県並行在来線株式会社」として設立された。2011年12月に社名と路線名称の一部公募を実施して、「えちごトキめき鉄道」に社名を改称した。

2019年9月9日、公募で選ばれた鳥塚亮氏が社長に就任。

○えちごトキめき鉄道の観光客を増やす増収策！

- ・トータルデザインとして車両のエクステリアや駅名などのカラーリングは、妙高はねうまラインは妙高山のフレッシュグリーンと山並みをイメージしたもの、日本海ひすいラインは日本海のブルーと荒波をイメージしたものに統一。

- ・2016年4月23日、観光列車「えちごトキめきリゾート雪月花」運転開始（食事（季節に応じた昼食）つき途中駅下車バスツアーコース）
 - ・2021年4月29日、直江津駅構内にテーマパーク「直江津 D51（デコイチ）レールパーク」開業
 - ・2021年7月4日、JR西日本から購入した413系・455系電車による国鉄形観光急行を塗装変更など施して日本海ひすいラインで運転開始
 - ・車内では各種グッズ販売とともに「四五五神社」としてお賽銭箱を設置
- 地元貢献
- ・遠距離通学し頑張っている高校生達のために駅構内にWiFiを備えた自習室を設置、将来を応援。

【感想】

講師は、2009年元ブリティッシュ・エアウェイズ旅客運航部長を経て、公募によっていすみ鉄道株式会社の社長に就任し、常識にとらわれない発想と奇抜な戦略で廃止寸前のローカル線を再生させ、地域活性化に寄与した。2019年から、公募により現職のえちごトキめき鉄道株式会社の代表取締役社長に就任。著作に「いすみ鉄道公募社長―危機を乗り越える夢と戦略」。

元職のブリティッシュ・エアウェイズでは、常にチャレンジ精神を叩き込まれたことから、一念発起。いすみ鉄道株式会社に公募したところ社長に就き、閑散とした駅舎をみながら知恵を絞って様々な仕掛けを試みた。都会の人間が何を求めるのかを探り、田舎の町のブランド化を目指し湿った町に火をつける役割を担ったと述べている。

いすみ鉄道では、地元民が地域維持のため総出で共同参画、高校生も熱心に参加して、都会から“撮り鉄”鉄道マニア客を集めたり、埋もれていた出雲神社の歴史的繋がりを活かして、島根県出雲大社とコラボしたところ、都会から大勢の若者カップル等が押し掛ける観光地に再生、全国区になって、芸能人のテレビ撮影にも発展していった。

一定の成果をあげたため、2018年6月株主総会をもって任期満了退任。

ついで、えちごトキめき鉄道株式会社の公募でも代表取締役社長に就任。観光列車「えちごトキめきリゾート雪月花」運転や塗装変更を施して413系・455系電車による国鉄形観光急行を運行するなど精力的に活躍されていて、今後、関東圏に加えて北陸新幹線延伸により大阪圏からの大勢の観光客が見込まれると期待感を述べていました。

鳥塚 亮講師（満63歳）の講演内容は、存続が危ぶまれる阿武隈急行株式会社において、阿武急株主並びに利用促進について考える住民団体「あぶQ・乗りつづけ隊」の活きた参考事例になるのではないかと印象を強くしました。

4、「歴史から学ぶリーダーシップ」

☆徳川家康

日本史で最も出世した人物。三河の国衆・松平広忠の子で、人質から天下人となった。生涯75年の人生は、危機の連続でどのようにピンチを切り抜けたかは興味深い。

1560年桶狭間の戦い：：今川義元が大軍で尾張へ侵攻したが、織田信長の

奇襲でまさかの討ち死に。・・“どうする家康”

大高城への兵糧確保の任にあったが、今川と手を切り岡崎に帰る決断。織田信長と提携して三河国の平定にのりだす。

1563年一向一揆：ある程度の治外法権下にあった一向寺院の独立性を侵害。家臣にも多くの信者がおり、国衆の反乱に発展。・・“どうする家康”

根気強く戦い続ける、妥協しないタフさがある。小豆坂の戦いで家康が勝利し一揆側が不利な状況に陥ったことで、講和が成立。

講和では、一旦一向寺院を許し、他方敵対した国衆を追放して逆臣たちも原則追放。その後寺に改宗を迫り一向宗の信仰を禁止する。応じない一揆勢力を徹底的に排除し最後には寺院を破却する。

1566年24歳で三河を完全に平定し徳川家康に改名。

1568年26歳で武田信玄と同盟関係にはいり、今川領に侵攻して遠江を支配するも、違約した信玄に不信感をいだき、以後信用しなくなった。

1572年30歳のとき信玄が織田信長と敵対を決意し、大軍を率いて甲斐から攻め入る。家康は浜松城にあったが、出陣しなければ、遠江国のみならず三河武士も離反してしまう情勢にあったため、籠城はせず城外で戦う決断をする。いわゆる「三方ヶ原の合戦」で大敗を喫してしまう。

しかし、武田信玄は突然に没してしまう。全く強運の持ち主といえる。負けると分かっても絶望しない芯の強さが備わっていた人物と思われる。

1582年6月2日に「本能寺の変」。伊賀越えのあと家康は、信長の仇討ちを明言するもなかなか出立しなかった。それは信玄の死で空白となった旧武田領の甲斐と信濃の領地の奪取欲がでたためであった。そのため信長の仇は羽柴秀吉が果たしてしまった。

.....

☆豊臣秀吉（羽柴秀吉）

足軽出身の継父と相性が悪く家出。寺の小僧や幾多の職を転々とし松下嘉兵衛の家来となって蔵奉行になるが、家中の和を乱すとして暇を出され、のちに信長の草履とりとなる。

秀吉は「人たらし」として有名である。エピソードとして竹中半兵衛の才を認め家来に所望し、秀吉は半兵衛の下を度々訪れたという。中国史に残る“劉備と孔明の三度の訪問”を実行したということか。半兵衛の「一体、俺をいくらで雇うのか」との問いに秀吉は自分の給金相当で雇うと答えたという。これは事実であるのだろうか？

このエピソードは二次史料と考えるべきという。ただ、上杉家家老職であった直江兼続の手紙に秀吉の記述が残っていて、築城現場で人夫に細やかに声がけしている秀吉をとらえ、「人間は感情の動物である」旨の記述をしている。こうした歴史上の一般史料が現存しており、秀吉の「人たらし」の評判を裏付けるものといえよう。

1573年秀吉は長浜城主となる。庶民出身の城主は初めてであり、この際に羽柴姓を用いた。これは信長重臣の丹羽長秀と柴田勝家の両名を敬った行動で、異例の出世に対する織田家中のやっかみを緩和する配慮といえる。

1582年秀吉の中国大返し；；信長逝去に号泣し呆然とする秀吉に軍司の

黒田官兵衛が、明智光秀討伐をなし織田家中に勢力を確保する千載一遇の好機と教唆したことで、秀吉は6月4日に毛利と講和を結び急ぎ中国から撤退。6月13日に山崎合戦で明智光秀を倒す。

その後、従わない大名は次々と征伐して1590年天下統一を果たし豊臣姓を名乗り関白・太政大臣までのぼりつめた。大阪城を築き五大老・五奉行体制という役職を設置して政務を執った。

.....

☆☆徳川家康

家康は五大老に落ち着き、長らく豊臣政権を支えるも1598年秀吉が没すると豹変、天下人を目指す。

1600年9月「関ヶ原の戦い」；；五大老である会津の上杉景勝が数度の催促に応じず大阪城上洛を拒んだため、謀反の疑いありとして5万7千人を率いて会津征伐に向かった。その隙に石田三成と大谷吉継が突然挙兵。これに呼応して、毛利輝元が大阪城に入城して西軍の総大将となり豊臣秀頼を押さえた。なんと家康は賊軍に陥れられた。・・・“どうする家康”

会津への進軍を止め、いわゆる「小山評定」軍議を開き、石田三成に反感を抱いていた福島正則、山之内一豊はじめ豊臣家恩顧譜代の武将の多くを味方につけることに成功。

家康は伏見城をでてから江戸に寄り、1カ月滞在して、寝返りしそうな大名の東西軍、敵味方を問わずひたすら手紙をだし多数派工作に全力を尽くしていた。この周到さがのちの決め手になっている。

家康本隊を率いる秀忠は信濃の真田軍に苦戦し家康と合流が遅れ（遅参）てしまったが、家康は秀忠を待たずに決戦を覚悟。タイミングを逃さず、勇気をもってチャンスをつかむ姿勢を示し、リーダーシップを発揮した。

西軍・石田三成は大垣城を本拠地として豊臣秀頼の出陣を期待したが、そうなるに形勢は不利になることから、また家康自身は城攻めが苦手のため野戦を選択。三成方に誤報をながして関ヶ原に進軍させる。

圧倒的に西軍優勢の陣取りであったが、半数以上が戦場で傍観。かねてから寝返りを承服していた小早川秀秋がなかなか煮え切らないため、催促のため陣地に鉄砲をうちかける。いわゆる“問い鉄砲”は有名。小早川が、戦場に雪崩こんで一気に形勢は東軍に傾き、戦さは1日それも約6時間で程度で決着してしまう。

家康は戦後、西軍から没収した所領を家康自身と東軍の大名に恩賞として分配。小早川には2国を下賜。88家の大名の改易。5家の厳封と豊臣家の蔵入れ地を奪取して豊臣派の勢力を弱めたが、なお、豊臣秀頼は65万石の大名として残る。

1603年征夷大將軍となり江戸に幕府を開く。

1605年將軍職を秀忠に譲るも、静岡の駿府に大御所と称して政治の実権を掌握。

家康は、二条城で接見したところ、成人した豊臣秀頼が確かな武将であることに脅威を覚えて、密かに豊臣家を完全に滅亡させる決心をする。

1611年広方寺の梵鐘に難癖をつけた挙句、無理な条件をつきつけて挙兵

させ、戦いに持ち込んだ 1614 年大阪冬の陣、1615 年大阪夏の陣を経て豊臣秀頼と母の淀君を自害に追い込み、ここに豊臣家が滅亡。

有名な「東照公御遺訓」これはウソである。

家康公の人柄は、本多忠勝の残したあまたの記録を基にみて、「人は天道を信じていく」と家康のことを記述している。家康は天道の思想を重んじていたことは間違いなく、この点他の家臣の異聞を聴かず。そして我慢強く、用意周到。チャンスがきたら逃さず確実につかみ取ることは、史実から明らかである。

.....

☆坂本龍馬

1836 年 1 月土佐藩郷士の家に生まれ、母親代わりの姉、乙女に養育される。12 歳で塾をやめる。

1853 年剣術修行のため江戸に。千葉周作道場で剣術修行をはじめた直後、ペリー来航に遭遇、衝撃をうける。

貿易会社と政治組織を兼ねた亀山社中（のちに海援隊）を結成した。薩長同盟の成立に協力するなど、倒幕および明治維新に関与。

大政奉還成立後の 1867 年 12 月 10 日（慶応 3 年）京都河原町の近江屋において暗殺された。33 歳で逝去。

- ・龍馬の人物評は、「世の中の牡蠣殻の中に棲んでいる」
天真爛漫の愛嬌家。聞き上手であった。相手の話を黙って聞いたあと満を持して説得力ある話し方をした。
- ・ジョン万次郎を直接聴取した河田小龍に国際情勢について学び「君は海軍をつくれ、私は人をつくる」と海運の重要性について説かれて、大いに感銘し、河田小龍にはのちに同士となる近藤長次郎や長岡謙吉らを紹介された。
- ・勝海舟に弟子入り：：海舟は自尊心を育て、器に応じて人を抜擢し敢えて重い責任を負わせることで鍛えていく。
- ・1864 年池田屋事件の関係者に勝海舟の関係者が含まれていたため勝海舟の学校は廃止となり、勝は江戸で謹慎となる
- ・龍馬は薩摩の援助をえて亀山社中を創設、長崎で海運業、やがて海軍に活かされるようになる。
- ・事績の一つは、「1866 年薩長同盟」：：西郷隆盛と桂小五郎の交渉の斡旋。難航したが決して辞めなかった。やり続ける事こそ、リーダーの資質ではないかと思う。
- ・もう一つの事績は、「大政奉還」：：武力倒幕に変節し腰の重い越前藩松平春嶽から土佐藩の後藤象二郎に乗り換える：：龍馬の目的は、あくまでも列強の侵略から日本を守ることにあった。

【感想】

講師プロフィールは、青山学院大学文学部史学科卒業、早稲田大学大学院博士課程単位取得満了退学（日本史専攻）。高校教師 27 年の経験を活かし、歴史作家として活躍中。NHK「歴史探偵」ほかテレビ出演が多く、著作に「早わかり日本史」などがあると紹介された。

講演の進め方は、代表的な歴史上の人物をあげ、エピソードもふまえ、歴史のその時そのときをいかに決断したかを捉えて、講師の主観も交えたリーダー像を述べ、聴講者にリーダーシップを感得させる内容でした。

全体的には教師経験があるだけに日本史の高等学校授業の印象でした。

講師出演中の「歴史探偵」を視聴したことがあったが、好感度印象そのままの語り口で大変聴きやすかった。リーダー格歴史人物として数人候補をあげたなかで放映中 NHK 大河の「どうする家康」を中心に「豊臣秀吉」、加えて「坂本龍馬」、「勝海舟」の人物像を作家視点で講演されて興味深かった。

歴史観は、歴史家ごとに諸説あり一本化していないが、研究対象は、今に残された当時の手紙など“第一次史料”を最優先に根拠として歴史を語り、後代の創作物をあくまでも“第二次史料”として参酌するにとどめていることを強調していました。